仕者などに理説即付けられ

茶は売を召され御内庭を顧う官、百武侍從長以下側近 沙淡乃所、松平宮相、白根・旅方を雙明最に招かせられ を始め奉り御色京泉族二十高松、三五、開院各位殿下

させられる。なほこの日

統例を受けさせられた

に御祝品を御贈答あらせら総下その他各身族方との問

軍事質は費に十四個に達し、この一に闘し軍要協議が高されることで

父宮殿下を始め奉り久通四 健下には皇太后陛下、 御揃ひにて午前十時より場天皇、皇后、附昨下、義常様

成內好、松平宮相、百或侍

細菌版を強へさせられたの

一十八日第二回の

祝いあそばされた

脚脈蝶のうちに住き日を御 原理下にはこの夜六時から

(田京市語) 飛行正仁親市

しょうしょ

惡性軍需インフレ

國合併と瀟洲國を相互に承認すると共に

日本がエチオビアで棉花の供給を受ける

1る日本政府の經濟的一政府はエチオピア 独

られる、戯中日本の紡績素のため エチオピア殖民地において他花を

蒙古軍を懐柔

揃えつけるとが好望跳されてある



日伊南國政府が政治協定を終結す。は二十七日後以上の観測を否定し

伊太利政府の意向日獨協定に参加の要はない

經濟問題が眼目

一般命職級を共調とする新島定一無常遺郷の其間的内容は末だ戦 「日本政府はアデザベバ禁用公」 ・日本政府はアデザベバ禁用公 タリー政府のエテキピア 管導併 含を事實上表記する。一方イタ リー政府は第四國を事實上承認 リー政府は第四國を事實上承認

につき流さり等公表しないが、早、業上変異なる観響養霊の職像について式ですり、野産富加に在歴史の内部、府にニチオピア雑誌地において式ですり、野産の開発の内部、所にニチオピア雑誌地において式いる。新聞定により日本郷

|外交界の前風によれば新樹花||き採脂で便益を享受するものと見

白霊廟占據を機會に

將介石氏が積極的に乗出す

普通教育の徹底に

選進する方針 釜山で大野總監語る

「釈出すことになり、十二六日的」

明示されてゐる(質認は將氏) 一門五千元を給する等仕職に風船二萬元、高射卿一門一萬元、野剛

一、竈伊南國政府はスペインの内た、要官次の如した、要官次の如し

乱に武力を以て干渉したのは瞬一、僵伊南國政府はスペインの内

務總長に對し聯盟規約第十一様に 【パレンシャ廿七日同盟】スペイ

行革と議會對策に

上海廿七日同盟一級途軍の百選

旅長三萬元など、交武器を持つて

路順せる者には飛行機一連につき

作戦に出た、質金額は師長五萬元 を懸へる問題表し支那一節の買取する者にはその身分に関して資金 を動出し、更にこれと同時に脳順

止め中央軍に除り投ゼよ」と帰順 「武司軍に迎る出しを観表し、三百百

招集を要調

果して十ヶ年計畫は時代に適應し になどを考慮すれば、これが、他しこの計畫となどを考慮すれば、

これいと思ってふるが、普通教育の徹底な年次のテンポを担くする必要がありは成年次のテンポを担くする必要がありは成年次のテンポを担くする必要がありは

たが、たい細目に並て多少の出入を生すたが、たい細目に立て多少の出入を生すたが、カーニョを関にあったが新衛の末衛く九百四十二百世間にあったが、新衛の末衛く九百四十五次国に落ちついたが、たい細目に立て多少の出入を生すたが、たい細目に立て多少の出入を生すたが、たい細目に立て多少の出入を生すたが、たい細目に立て多少の出入を生すたが、たい細目に立て多りの出入を生すたが、たい細目に対してありません。 例入症の金剛丸で変由上陸、同七陸総の監例入症の金剛丸で変更上中の大野城所総監は非八日合せのため東上中の大野城所総監は非八日(秦山電話)関生度度算その神川聖城勝汀 時急行にて京城へ向つたが、左の如く謎る 明年 度度所は大體政府の旅解を提

政府に全力集中

對政黨關係に遺憾なきを期す

和十二年度俊慕も二十七日の開議。九四相南議。五相御議で懸沙明元。及孫進かに協議状定の手続きなと「撃されるものと要替し、今後廣田(東京に話)意大三十億美殿の昭「跋渉勝敗革に職しては目下それぞ「具置系是水を待つて會議を開き可」の施政は全面的に政統各派より攻

首相は随時各閣版と館見、職部世

が現骸。まあ茶番といふところ 馬占山が出て来たりどさくさ

響を、たまそのやうに導かしいと思う値をいふてもらはねばならぬ と思ふてのことおや。本来ならば

ばかり云ひやつて、逃げらとは水

る政策方面の至望等より見て政府

て、過版の議院制度問査費に於け

見られてゐる、而して政府が最も

威。世界の語状勢形正に斯の如

突如として陸に海に温風の禁!

メキシコ我公使館

日獨防共協定

ける官報で公布

薬漢に襲はる 防共協定へのいやがらせか

ンターナショナルに對する協定及 シで日極間にあるを丁した共産イー【東京電話】 去る二十五日ベルリ

本日夕刊十二頁一個版へ奉公によった上は出世する

「数する数さのもない。そなたは つこれ、逃げいでもよいぞら が削い口とは聞るむぞえる」 のが何上りではないか。この道理

らせと見られる、公伽館では真一を磨りメキシコ外務省に奪献方を要求した。但し井鷸通家館は二十たので繋頭「名は服態で逐脚された、郷人は左繋ゴロらもく成コミンテルン郷定に憤慨してのいやがつけビストルを継続選ガラスを破壞した、公伽館政一間は直もに消餓して蹇戒する一方餐窓に急襲してメキシコ市世上日間盟」世七日末明メキシコ市の日本公伽館にメキシコ人懇談六名が自勝心で乗り「メキシコ市世上日間盟」世七日末明メキシコ市の日本公伽館にメキシコ人懇談六名が自勝心で乗り

ははつきり割らぬ。

「お遊し下さいませっ」

るのぢや。お謝殿と部屋との違う てにしょ。 そなたとわらはとが 了。師しやいましても、こればつ と思ふても、おのづから肌は見る

『そなたの體を驗るのぢゃ。今も だけのこと。とやからいはずと、 人のいひつけに反かうとしゃる一つ風呂へ這人れば、見てにあよる ふ通り、ことには誰も居りはせ一座う着物を貼いで…そこへすッ

の唇はいつか青白に鯉つてゐた。

お作品 数 第 大 外 あかき A ひ 駅 本 が まかき A なかき A なかき A な 表 表 変 番 ま ま れ

一個八十四四十五日 日十五日 日十五日 日十五日 日十五日 日

世界政策聲明リトヴイノフ氏

っか、その日程は

◆第一日 [午前] 副示、指示 [午 ◆第二日 [午前] 劉示、指示 [午 後]] 日 [午前] 劉取斯項、答申 【午後] 同上 島水型猪局長統裁の下に開宮され

日より開催 っぱいり

容易に見るべくもなかった。 い。至くも時かしくもない苦さ は、そのまゝ聞く閉されて、 か、孜々と極き合つたお萬の標元 際は長々と西語の上に解かれた

『主人の命ぢや。臓ぎや』

「えゝ強情な。脱きやといつたら

することとなった 方此を早急に決定して明備に着子 **舰學官會議**

「なぜ手を緩め口のがやこ

一、あなたの詳しい御住所と姓名 世〇の家〇薬メンソレータム

極力防止する

【モスコー二十七日同盟』ソヴェ | で右盤明は次の重大三點に觸れる 関を行ふに決し、目下草塞起草中 世界政策に騙する極めて重要な聲

日より三日間本府第二部議等で 野谷山學務准長及根學自傳輸は

たがば強者と嫉妬に燃えた東部脱きやらぬか。」

三期三百萬噸が目標

新設、道礁論報問、資産漁場個で てあるものは普通教育信加源定的による清戦隊の多戦或は引込縁の であるが、今用脅敵の中心となつ

干分は清津製鐵所で消化



削に求めるか、對版とするかはそ─スキー極東部長を訪問、廿六日蘇

選が程度では第一期計畫としてはの要素の大小を決定し、製地三十

程文へないが将来を考慮すればむ

位置によって独静の決定を見、本一道般的に廿六日兩國本境地點で目。十四時は是罪とも必要でありこの「多っ」。

然るにカズロフスキー極東部長は

ート兵の不法越境につき抗議した

前はこの推翻施設を行はおばなら。「個兩個車面十億名が越境しソヴェ

ぴとして約七十萬國を要う。べる智述べ嚴重取締方を要求した別地決定は先決問題で、そ)・ト國籍整備隊と交進數時間に及

紋はせのでい いひつけに反きやると、もはや茶 「えいもう聞き分のない。この上、あらう。恰も猫の子でも足嫌に 染村はきつと願くと同時に、**刻**間り倒した。 るゆうに、お真の着物へ手を掛け

◆ 官族並局連轉係長 周上 ◆ 衛山鎮道局車轉係長 周上 ・ 一宮大日本衛家資獻及長 工業 ・ 一宮大日本衛家資獻及長 工業

◆總建海東大佐(本府御用街)二 十七日賦海へ

◆一宮大日本際業會社を長、工業 ●一宮大日本際業會社を長、工業 ●八谷子日氏、「五統一」 ●八谷子日氏、「五統一」 ●八谷子日氏、「五統一」 ●八谷子日氏、「五統一」 ●八谷子日本際業會社を長、工業

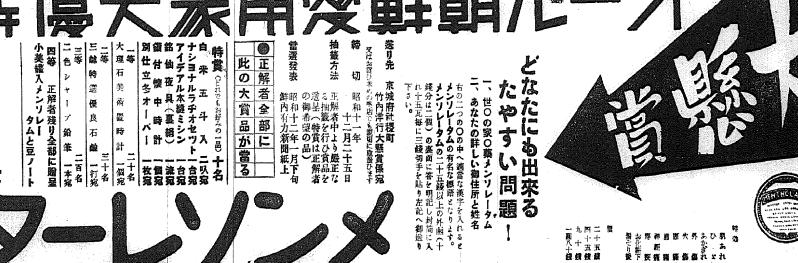
|何にも修路にお真の様元をぐっ

嫷 嚴 時 åŀ 個宛

開館する五相館益に提案され或る 程度の見透しがつけられるもの とを期してをり、或は求る二 は公正である。満洲國承談の紀』「ほく」。これはまた町人の娘に 時は一切を裁さす。Go 時の裁さ 何事も徐り急いではならぬ。」まで落ちようとするのを、お前は

身を認つて危く止めた。 着物は脳口からするりと背へ滑つ 容融もなく引かれた態元は、あ一日耽ぎや。 つともないで。 わらははそなたむ 「何をそのやうに叫いのぢゃ。み「火しも職れることはない。わら たが、しかもそのまく腰のあたり 今は駆然の職を閉ちて、お真は「腹ぎや……」 で記ったいふことを聞かぬのだ 死人のやうに頭垂れた つにくくい。馬鹿な女子おや。 一萬。そなたは住合せ間ちや

ものでなし。頭目に痛へよとしたどころか、からして肌を見たしょうとこうに、さんを致へることし。次の感間何が起るか解つた」どうせうといふのではない。いえ、本鬼の女中は、千人を敷へること それどころか、からして肌を見た。が出来ようが、おそらくこなたく の一人も他にはるのであらう。 らる美しい肌を持つた娘は、たら が太波戦を築して進ぜる。この御



たさずに済んだか、明珠しいづれ

の成力を観して既からとになり

間側でも大いに懸するんで「政在

仮心」をと話り陸院列車を行つて 指注言に充分間に合せますから御

ろ大忠雄氏が新町菜根に馴染み

汗ー願三川を五時間走破の優秀船 一・二時間は船の方で取場し、 快速力で時間取戻し

したが、急闘諸百十勝名、赤十字したが、急闘諸百十勝名、赤十字間が「間れが調査闘を脳

配置館本部でもこれに追座、諸極 日本赤十子デー」に際し、赤十字 三・十六日金鮮一層に行はれたコ

情能な「家庭の内面が「墨語され」で、夫婦喧嘩が絶えなかつた

********・「そもなりました。とないまして、火炉弧喘が纏えなかつた」。「ここの大工日地一緒につれてして、後に迷れのの観点となり、女をつくり深や外に興い助らなの「されないので、逆げたいとの話をじて はいった家庭の子利が馬一女をつくり深や外に興い助らなの「されないので、逆げたいとの話をしていた。

した石松屋が館の女中が府市ない。

泉城本町、はりまやすし、の慘劇

秀な赤ちやん

午後二時五十五分が城。一眷の後山 れる一時間遅れ一般にした太同日

十七日午前から陸宮のため列順不一般は消く開通した。なほ悪山郷は

零二米餘でミ零困難

思はせたが、昨日の熱風でける

を示していよ (本権的な多を 去る廿二日常下五度八分

惠山線は今夕復售か

世上日中後、時十五分)ろ・海亀然・中であるが、本献成骸の紅動・中の「梅」、そりにも進命の受験者、 「極寒的高方心内で、突如「血寒が緩撃」、無寒が、頭が寒煙・電を得て、の原津域絶生をは が入れている。 とりにも進んのは、大きりにも連んのないが、中の「梅」、そりにも進命の受験者と が入れている。 とりにも進命のでは、

三社合同炭鑛救護隊の結成を前にして

大時らたのおけいこ(東) 大時らたのおけいこ(東) 大時らたのおけいこ(東)

平壤鑛業所高坊坑内の椿事

これが脱倒について同点。はじめての場所部を結ぶして、てある。

ら歴代十三割見當で年末本官與を「人事海の見當によると一人平均百

ナスの胸外用かストーブの影。の《御遠し》により査定を始め家

賈上百萬圓を目指し

一越で女の着物を彫引してゐ

たのを健康・一味十二名を発電速

廿七日午即四時ごろ京城町外窟に

十二名の萬引窃盗團を檢學

して一味十二名から成るの

がいいのでが取した

企質出を質行

一情い働うれしい表情を持つ

ボーナスを狙ふ歳末景氣

理屈、カフエー等々大意駅の戦々までも指さんボーナスの げふ廿八日に潜しく総令を出し二日間トワクリとボーナス でのボーナスの々走りゃは阿华通り朝郎后能がイの一番に 「リの「ボーナス」が配断にプラ下がつて、身も心も浮き ケ年の思動の腸、下半期の強勉振りに聞いられる绝タン さん運、それから先のお流れは各テーパト、本町腑、粋〜に選集須願で得極へて ゐるサラリーマン、それを狙ふ (世帯の總督府は

ころ、十五日の師定の中仰には光づ大所の總督府院僚を始さんといる線心?だ、低いて鮮氓が師定の十日、紋中割ど 強銀が関年通りの州削、東地がやくおつての廿五間。

新貝

八事心長に明かに

即つた

朝鮮民曆献上 痔痛にベルメル

の處、この提出来上づたので總一を行ふ 過辰去属に改正した誰を歌ூ中を宮中に飲上することとなり、 総質形では片例により細節民暦 不知火旅語上棟式

臟品

11

|宮二郎人の物任宮、四萬人の原は||ーナスの半は好くしてあります。 の大性帯を維する各国総は人事部(働いた人とか、主任級で特に活動「加入の飲祭官」、会計入萬三千人(それか) 盛ま湖北麓の変数として

工五日

齊に出す

省を通じて献納の平的きを執い

八htt:で女品二第項原 ◇ 會樂音の女高 業者が中間・後午日 ◇ 會樂音の女高 海場舎のことによる中間に、直接を与いる。 「海場舎のことによる中間に、直接を行いる。」 アビ、に明音、に明暦でなけ加も見倉ではきと「の生業者はに 一門合の生中加は現実」とし、業事交大な彩ジに交響 「大水三二般め案 タ、傳込 ビー枚品に、ママ本本

幼兄の留守番禁物

炭火を弄んで火事騒ぎ

李子上

マョネーズ

征削と異なる點(疎、短册)

囲光端の補助数を設行す

同は抽籤数は、買上一個毎に一枚 めしいること

精東版できが火撃の炭火を素んで、氏はそれとも知らずウメ子と逢つ英願方で留守居をしてゐた長女の、自収をはかつたものであり、忠雄

ンプでオンドルー部屋を焼いて消 ウメ子と宗報で連絡をとつて大 人が認見、直ちに田動した消防・川戸町恒岳原館に投宿、永で浦 るて歴歌に数えらったのを附近の一てかり永を誰から仁川に行き、

朝鮮式建物「新進」を偲ぶ

消断途及その家族歴史のため卅月市め平常殿がに提はる繁悲官前に 家族の慰安會

竹添町の泥棒
サビコ液 へ逃げんとしたゐたところを本語 その古形を読る殿州縣は、央線の南原中心地となり、東線の南原中心地となり、東海南部線でがて出来る中

配手生液ペロル

毎日のお食膳に 秋晴れの行樂に

都々逸ながしい原良節くつし

月光價千金

榎

腱

戀の繪日傘

原敏

Ø

喜東 浜 代林 三郎 東海林太郎

桐 瞼

ポリドールレコー

-町本地京

內科一般特二 聯門

島井**病** 赤一 **院** 道郎**院**

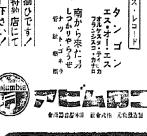
|金町署原田、及川南府軍は東一穴を掘り同所へ帰品を従くしての||が可ぐを見魏ら夜繁成の御王郎 一月六、七日に

軍用犬を購買

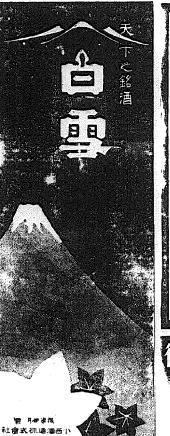
○計取、進する楊平郡生れの李敬宗 に、同生李龍成氏方から妻一叭を 原理女婦政立與三罪(ご)らか、名 用力な配属せしめるため数十版で 上人方面第一級形骸

総新位町二三大洪富和(三)は十 家に飼む大でも軍大朝鮮支那













第三番 (ま) 2 (ま) 2

の献大 戸 金 新角板板井麻魚成大県外 店 園 金 期 伊 南 田 地間2020725000円的井 地間2020725000円



巴マール・

響 よう-(祭:

m2

'n





たに京城西工芸会殿合館を組織し、大野出についてもれ三般」を戦 西店の領勢をあげるこ 出たきものと寄々研究中の頃、1

大いに小

各語に同合か一致解論して新といなりたっため、動 **京城商工組聯積極的援助**

漸く艦にか けさ拔錨、 佐世保

夜なノー相子水で鳴らしてった 天晴れ夜警君 へ記込み、鎌宮芸約甘草を締み出し日夜間町の京城府水道課出場所

御土質七十五名は、ランチで外につたので陸に上つた河薫道、特校 【仁川電話】 廿八日改磷もおさま

投稿中の特務度「野心」に開催

冢を忘れ還らぬ夫に

(聯胺是久里母他软形候征生) 村長 (廿七日) 歩兵



今樣越前守さまの

の東京芸代しに助力を求め一県四」とに図)を初取し財命の色料都健康里(呉)

いよく後の個を組織するこ

具、いよく一般だ重を組織するこ | 鎌帆を突飛するところあつた、こ | 出すに至った跳であるとに翻手とまり二十六日午後日華 | 鎌帆を突飛っところあつた、こ | 出すに至った跳である

務所の確定で設成人所を別して

風の謝煙を定め関却方を依頼し十 五日質却せんとし速成中を逃げる

手並を拜見

男女とも夫々相當な言ひ分

が既か九年間的権を働いてゐる被

木川署で岷里取澗へ中である

偽造の札束使つて

権代の詐欺賭博

なんと二千圓も捲き上げた

味中二名に判決

は英大の質師に上り司法係では

離婚請求の珍裁判

朝訴訟を提起した。その理由は

クさんを相呼取り毎山府宮平町 「主山」開州関西江省に出む内山 - 目内山路活氏―何れも假名― の程签山地方法院民事部に唯

東して後被告は後市財産原同科 知り添洲、自活の道を導てる。 がその政人の金添を原告に関いてあた。 がその政人の金添を原告に関いてあた。 が光の政人の金添を原告に関いてあた。 が光の政人の金添を原告に関いてあた。 が表示といふの。被告に前に行けば二百順所の 政人があっといふの。被告に前になったが、大師処戦の譲渡 がに渡ったが、その領守に属いてある。 がに渡ったが、その領守に属いてあた。大師処戦の譲渡 がに渡ったが、その領守に属いてある。

豺出沒

豚四頭咬殺

告は無事家山し、昭和十一年五フェーを開業したが同十二年被和十年九月南州國アンダーでカ和十年九月南州國アンダーでカ南人は昭和八年正式に結婚し昭

関係を結んである 裁判所では被告

九年間に一旦る

数出級領は十三回四十銭

受難の清南校

戦長から郡唐極事末時通り妻大成 の物決言要しがあった、なほ他のは原役十ヶ月、全國には同六ヶ月

聖法廷で開発、事實を埋の後季級

懐中から阿片

工士六日午後四時ころ桁 ・ 1十六日午後四時ころ桁

が入したものとにらみ日下取詞へ 優したといってむるが風器では路

朱安の痴漢

京東鐵道工事場

森下組飯場の主人

ハッさんから答照書が到着したが

玄米を盗み運搬中

して結婚国を出し入野さその写原告は被告の印鑑

内大は、既一只です九年前編作出、西京中の艺术の内十一杯(百女十八年) おき 国と定め 影響を置けて あため、 遊話物等を踏んでは費到、十二日

り木浦の酸をとして働いてゐる中女来、概化 濱仲仕つひにご用

世紀香川組に行版みの既應に降り

「清州」既報、当立清南県政の権である

削途に曙光

、急坂を登るよ幾千尺

| 「一日本 一日本の観光の名を正式を進め作け、前一世の一年の1980年の中、最も続いの朝一級路の勾配は急に所で四十分の一一一一年 一年の観光の名を作服して見る第一フェック・・・・・・・・・・・・・ 戦争の対配は急に所で四十分の一 川間六十三キロの路線を庇功せし「鮮中部國東山脈の重整たる山泉地」急坂を登ること、※干に、治戦領を 工事何想語の会を化服して國家選上り分散。平北時線工厂が御書紙に「この間の工程」前的八百五十萬里 潜る隧道廿四ケ所

始め二十三ヶ所、その着脚の高き **合に除りある、この新緑の開通に** 武運聴を行ひ大利出所長以下職 ではコ十六日路域の各価検証のた 元成の割である。平一郎道、特所 短縮されたが十三年度には金融 ち終點を除でところ九十六キロ 第三 製造の如きは二十五米に及び 事が壁工事であったかを態度すれる全節一の記述で、如何に本

たがその成績は静に見る好成績で報各係財と氏し新聞記者が、経

女列戦―前川についた列戦―待 「寫眞説明】」が 時間一時間四十分) 田舎道に血達磨

誰でも感心する効果

り午後四時頃より吹雪におく一

山野は白雪に既はれたが七時 方風も雲も嵌へた

南浦の初雪 氣候激變に

籾を賈つて歸宅途中の惨禍

強盗に襲はれたか

領温意味下、明け方から暫時本年中から朝に かけての 突風に 联系 風で火災を譲づかはれたが午町七 初の降雪があつた、領鉄の旅機と で一時二常に領温が昇つたが、 鐵南浦」廿六日午後からの陸雨

及び病後衰弱、精力減 結核性病患特に肺患

退に 肋膜

П

大大女・り大手三十七百年前一時に発生って活到して、たので最近の際院に作れ込み加減 大女・り大手三古上(大、九キロ)― を質はされ血に発生って活到して、たので最近、前記思介で窓屋に渡っ、まず書きへ降りて本物館の多の通り、ので、ので、前にして緊名と原間は左、花島河の路上に咽喉部に「寸と三」に別を質却し代金四十回を使中し、烈氣吹きするび「十七日も気はやい通り、切口、前口間に允征する | 大田 | 廿七日午前一時に登山町 | 河野が大波った)と戦時、同日市日 | なった公刑地方は夜中より縁れたあった。位は、前口間に允征する | 大田 | 廿七日午前一時に終山町 | 河野が大波った)と戦時、同日市日 | なった公刑地方は夜中より縁れたあった。位は、前口間に允征する | 大田 | 廿七日午前一時に終山町 | 河野が大波った)と戦時、同日市日 | なった公刑地方は夜中より縁れた 【天安】本月の落穀期の晩申間き一であつた 一面銀世界 時態便行里で小火一批あつたのみ

|仲岩(八キロ)|前川(所要)り身元東調べの結果、遊山面表問、代金を紛失してみるいで強続の出て、三キロ)雲数(五、六キロ) ある算を通行人が破損力。書きた、中であるのはより算してある。 観

業とにらみ犯人是採申

振落されて即死

ある男を通行人が観覚大響きとなり中であるが中々の軍隊である、跳

溜池に浮ぶ

姙娠五ヶ月の身重 人の死體

ツクに飛び付いてブラ下つたため

血腫的を患行中敷名の見聞がトラ 過手須用語でするが対象の形形上 「王山」北六日午後八時過き問節 出面李守天所有の賃 ※自動ルー

本東間へ申

「別五百年の一切手が織立」。意限に、四人相と同様の女を復してあたのを東側へ中

「別五百年の一切手が織立」。意限に、四人相と同様の女を復してあた。

「本東間へ申

「別五百年の一切手が織立」。意形に、四人相と同様の女を復してあた。

「本東間へ申

「別五百年の一切手が織立」。意形に、四人相と同様の女を復してあた。 は土田後と標定されが織五ケ号の てめた
は土田後と標定されが織五ケ号の てめた
は土田後と標定されが織五ケ号の てめた 身許まつたく不明

街の老勇士 漏電酸火を消さうとして

> (代してみるかし、希望の方は底 オーキンチャーを服用すると

【水原】町夜来の帰風で甘七月午一切の窓気だけに出民はふるひあが 感電して無残即死

が吐になる

日の高壓線が切断器電して火を噴 **卯九時事ごろ水脈縣南方三阿町入**] つてある るろのを附近の金明光さん(m) 平南辭令(記)

理材据、道题 阿那 朝吉

平温者、道教部 田浦 欧朗内勃那資計課長を命す

道 導口棉造所長家粉を伸す 道 導口棉造所長家粉を伸す 産業技師 永見 鍛造 任道藝部、補騙徳署長 全南群令(廿七月时)



佐取扱ひて合理化 かなかつたが三十 販賣集者は一人もお 質議所に集めて『荷 解では廿七日三十名 はかりの荷主を商工 **全州** 全州 …ところで新聞

三門順子品 **興つた、祇園情緒豊かな侠妓選訟と桂小玉郎の恵**









+

館列陳大

肥になることは

洋服裁勵講義 大阪北區中人 大阪北區中 大阪北區中 大阪北區中 大阪北 商報送呈 が大阪 洋 大阪 洋 極・養脈・高音機・高三昧様・大鼓・小の外高級品各種有り 拾八五

願いてゐるので それ。 \ 木ル ・ 本ル

市南区西清木町三五(四県高岡屋) 服學校 東大 泉阪 七 國五拾錢 囲 i) 齑 店 辯はりまや本店

が紹めみで

題重な地

みホルモンで

城津は烈風に雨の大時化

昨今花でも吹きさらな暖質費を……あと三日で飼走といる「重要」 冷然来の整義に怯乏でゐた北韓に……これに以外 一十七日河来学しや城市地方は築前要来明監、約二十二ミ この季何にしては近年来の異現象である。それに原理

であつた右につき測陵所では左の如く御記記 れにしても無山白茂南線一帯は二十六日第下十八度の肺炎 日七米といよ烈風が加はり酸内は一時大混乱を送した。

全州地方《初雪 去年より四日遅れ 清州の初雪

「湯門二十六日後精が地ではか

学し風雨場く後には後、3多交へ「しては初巻で平年より十四日草く」が興い来り続く今来して紙を養え「(公州)二十六日午後から荒天に-方法を轉じてある「金鼎」金州地方は廿七日清道は「終日時間接縁であつたか、金州と「風吹き捲くり河川」が下して東河 (公州)地方にも、実に取めてす進駅

能成成々は二十七日連携された 飛事隊に凱歌かあかつた、永豆

など個人患者に関すとなってるた。那数でも二十五日城場検証をする 即方面に活動を開始、 答心の結果 阿に依り本職を発す 田那事部長以下司法係十名六朱安 、酸単工事場発下組の飯場の主人 を怪しいとにらみ二十七日小前 **南國山郡西山面倉所里定、景悠。** |地間河面第二區原田附江の京

> が は

代 6

か

ſ

| 「一十六十六國を驅取したもので | 懐中から阿片の塊が塊れた。同人 | で源が得ないきあげて来た。食は中旬までに桝山都管が面質が単 | 後しみ本器に連行取調べたところ | 『人であることが鑑賞になったの中旬までに桝山都管が面質が単 | をしみ本器に連行取調べたところ | 『人であることが鑑賞になったの様様を行ひ | 月十日から九月 | る間里一食。「他ごっと平原器飲か | 女二人に首質機をさせたところ頃札関博を行ひ | 月廿日から九月 は去る五日新義州から嫁る途中台 京仁戦道から続三里も既ににいつ 慢中から順片の塊か塊れた、周八 で築書替をひきあげて来た、金に た文顔面延滞里の龍地でよっ人と 時日宅で連邦、同日初後活番の

つた上二人の女にそれかり自能を「蒙漢ではナントコ十七名の新聞聞」中しはじめ所辞金十九回十号を福一日の誰田郷主催の思 退したものである、個人ににあか 服者も参加 吹雪襲來 から見て形容的 開を荷玉とする際と新聞を荷玉・沙里院に 【沙宝院】 例は「東方はことも聞く差額質とありぎ

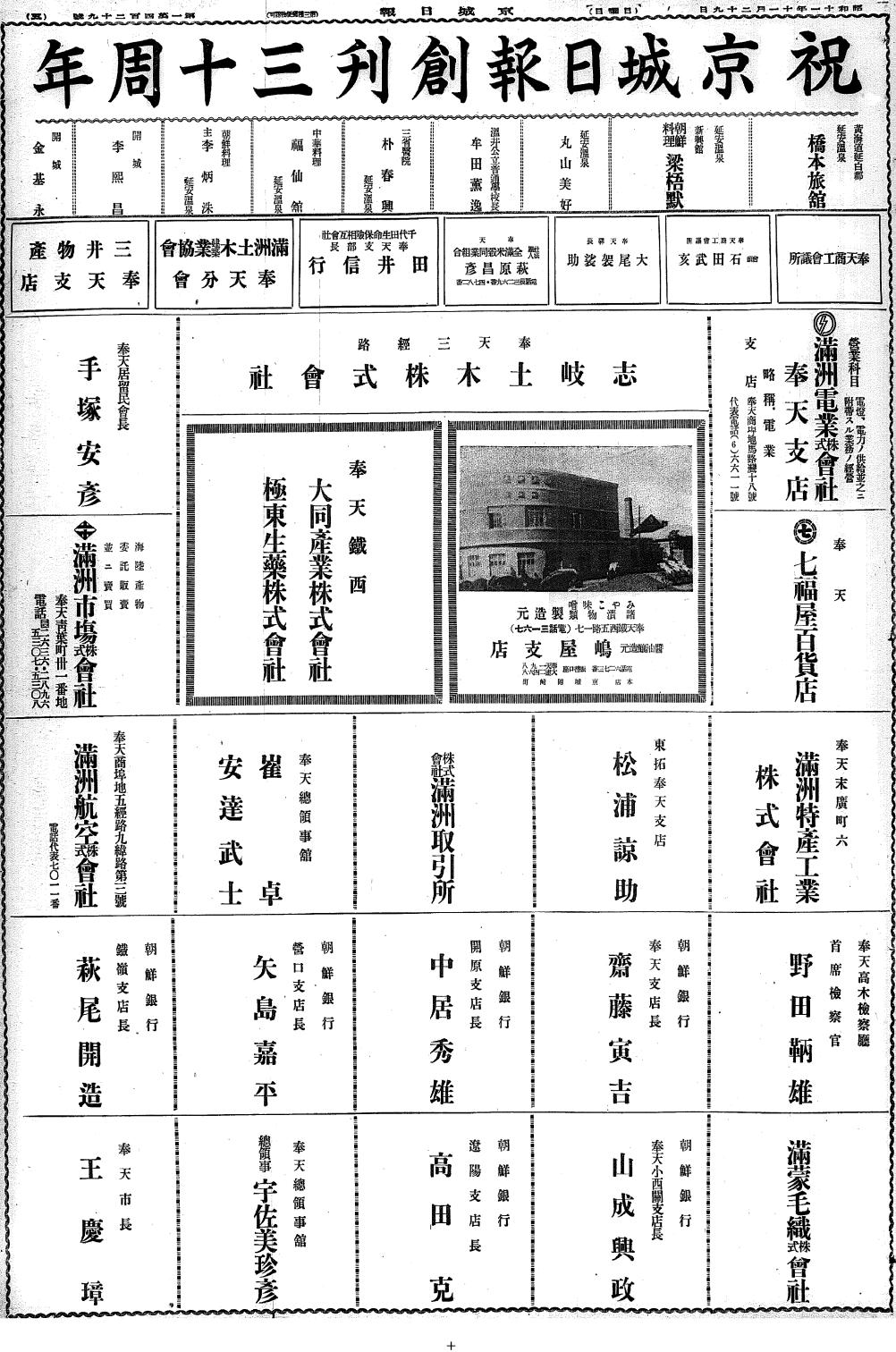
あるが単に十日はど儲つてある

上川】 園の朱安附近の山中で田

合出の女二人を表牙にかけた

好かねことも聞く懇談性とあり新 よい事ばかりきく懇談団と 日の鎌川驛主催の思

度 定 対製五十億 対製五十億





廣田内閣を支へ 人の大番頭 藤沼、次田、吉田の鼎立と 政界へ投げる興味

色黑吹出赤顔等の原因と治療法 間内から除去するニキビや 客斑

一日も捨置けぬ體内毒素と悪血

局長管言田茂つ所割内囮三長宮の配在かあすず即兵器諸市下、法部の長官大田大三郎、調立現内部の三羽島として今を時めく大帝頭、郡立 吉田の解人にせる。常時内間の大道回しては 部とうものだけに一艘戦… 崇声話の一端として 能りに問題を重要であり、他人〇異味と関心を そ否か?既れ他の既言として此世界り去るには を近り頭りに聞く、果して之か良相を望つもの れば原田内部獅士与中の蟲たを網撮影的する景 ことは世間同知。通りだが、如何に立派な人材 いづれも一時週りの申分ない大物ぞろいである 之を眺へることゝしよう、梅沼にせよ、欠次田

そんなもので他は恋く質にその際にお称し、は、質労大利士二、四十三、四十四年組に難す、は、食道がをいげっとす。は、寛労大利士二、四十四年組に難す、同 制局接官、吉田內與調(局長官) **ふことが無理だからである、それには元づ三番者一丸となって…などといふことは収ろ之や宿** 護いを辿っことは聊か観楽の推ひがあらり、 追随を許されに長を決備した関語にが それだ るう (知道により解消内間提記目長、ラーム この三人はいづれも内が側に育つた態材で、東 の特異性から考察して掛らればなるまい、元来 けに三者の門とに統骸統一を期する、つまり三 程化三人は一人々々取り上げて見れば

うたが、矢殿、何八を記ても人

大・水谷区三大生の万大郎主大家が高朝鮮のと窓に東洋人種の学生の田郷一生に、別の恵士の田郷紀天、郷町城朱元生、南郷町大人には報う別館なく即で歌門原士の田郷紀天、郷町城朱元生、西郷町大人は上報ら別館なりが一般で開きた土地があるので有名なる。此外國の内賦歌は西北人種の第二提明された報酬的に、社会人種の

主治効能は慣内のとの人があった。

古れ、整個機能を経て無点とは、これが「血」が無いといふ思いたっとは、生物を対し、一時は感が簡化能士と、観きのはに彼の特別性が現して、では、大きの生態を対して見る情したが、之より先き観光からは歌光と、 大きの間があれるのとでは、大きの世紀を、大きの世紀をは、大きのは、一般には、大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一体に大きのは、一体に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一般に大きのは、一体に大きのは、一体に大きのは、一体に大きのは、一体に大き は古所と終めつ「足の女性をせい」あることは公平なところ否み聴い、は古所と終めつ「足の女性をせい」あることは公平なところ否み聴いの語めて来た所謂古男人、思く見れ、オフチョコチョイ根され、練ひの 本教館代を始め、籍れに見る。庭一で、理論めいた四角でめらしい政一定が、結局この語風の中心を在す は第三野黎都長時代第一次大はされと含った質励深肌の働き手 ロギー臭など際にしたぐも持ち合 「気たどに直接タッチすることはは | 所以である

吉田調査局長官 頭も腕も肚の中へ

| 一之に對し次田法間同長官は宇垣 | 百パーセントと言ふべく、 議館に 大將と同郷。隣山の産で、藤浜氏一於ける首相其他各大臣の答論メモ と属甲の五十四歳、四十三甲の僧一など殆ど此人によつて作られたと 次田法制局長官 であつた時、偶々次田は地方局長

對し、之は交合微剃刀の如き暗脳 大田だが、駐沼が實際家型なのに も卒のない男といふべきだらう。 言はれてゐるのでまり何をさせて

だと割るから、膨揺、次田兩人に 兄で五十二歳、四十四年の帝大出

無代何人にも進呈!

焼として終始させたくない。 否認 録おやないか……と見られるので い無脳の働きも、利き益きに手腕、長を兼ね窓で蜿蜒にまぐ楽曲、今へかいざら堡物場された遊は、鏡(し、次田は内が大街として新聞局へかいざら堡物場された遊は、鏡(し、次田は内が大街として新聞) は蓋し北晋田に一日も一日も置か。田が弥働で法の失敗に置を続に協して見れば後輩だが、人物として「として勢力對峙の敵形にあり、吉 いった賦じのする際だ。一個の皆を概るに至つたとゆ何と皮肉た際も差で肚に包敷料中されてあると、日が同じ局談的の内に對立の陣形 で五十二歳、四十四年の帝大出の安建さ相の下に彼が心動局長は、古田綱金局長官は郷鮮の五片り「る徳宏を具へた存在だる。海口内閣

一いふ色分けになるやうだ

の底から助ける気はにも

人を此鑑是来る野はないと思はれ

工作生れの本年五十四歳 がとして改多類々しい事。を 歌 幣洱料記憶長は端木の面、明治 と確し或は「許努人」を質妙にす たからと云つて、之を以つて直もに名コンピの 藤沼書記官長 肚よりも足で活躍

> 物は何處までも人物なのであらら 一宮にして含へは火田は一切れる

かし切れずに 互の長所を生

三部の数分階背景を強いて原門しして遠からざる見方だらら、また が続、当田、鯉といつた底がある といふ話があるが、當らずとも決

出来ないのだららか?其の資の重 事が出來たら番頭さんも、於町間への長所を巧に攝然加用して行く 肚に在ると見るのが恐らく常臓で この三人の大番頭に創出して、夫 あらら、絶理が異質の腹の底から 歌は解する國間田總理の手腕なり 夫々脈立附陣形をなし、ピッタリ に一題となつて廣田を導きもし気

a 監 濟 生 堂 襲 薬 所

濟生堂製藥工場

いたの様何気を申しげます。

て項に浮世を添いで来たがても嬉しものとされてみるは宮原と政器の二足の草種をせい。あることは公平ない いても唯への男、自ら「野武士」

四十一る如果ない利潤者、革新的イデナーやうな担憂も生れずに消んたので すことが出来たたら、恐らくこのとして放出資料が上手に使ひこな はあるまいかと思ばれるのだが、 て見ると、職権には駆か済の形だったこの三長官を用魚に例へ 盛にもう一人吉田と言ふ行力に存 人」だ、だから映画と二人を雷囲 が発音め射といふところで、次田 操縱下手 がいころ

然 らば何故からした大物が · 关 登 間、我五大概斗大変が認力音心の結果を対象値となっ方法やニキビソ たカスの観点は、主要を育に引ての表が出意、既解病の手が出来しているのでは、思解病の手が出来しているのでは、既解病の手が出来している。 近にも常然に乗します。ヘオキヘー減からから、実しくなるが急が進 しているのでは、またいには、これのでは、実しくなるが急が進 を変れ、ことすると変えて、中心が止りがたる場所を表現した。それ を送れ」と書き遠慮なく申込あり

置れるの銃闘振りを示してゐるも

のと思はれないことだけは、動か

CHIESE.

堂 天 順

舖

村

日丁三頭區獨本日市京東 大〇六京県哲振 二六編本日結館 自丁一筋機關是閩南市較大 **店**實

津

かららかとして現はれるのではな

展班フノト原土を認め既然に、報の客場も上に勝つの連集機は、保険工との、は、ことものであるからの解析とより完全に治院することが能が開いと呼吸された等の範疇も変数が変されてドシドシ治のできれた。関連に、という がほこ部にだけ出來で居るものでないから優から緩からと欧田して本があるのと効能を述べずでくもニキビやリバカス欧出家の株頭その物があるのと効能を述べずてくもニキビやリバカス欧出家の株頭その物 を唯無明と外面から徐朝や仏棋品を使り付けて漫談性が何くの報酬がニキビの姫きソバカな城出の姫き政権の内部から建生する皮膚の無紙 五博士家研究無代進星 僅かハガキ一本の申込で直送



的の薬効がものを云つて居るのです。 代益その眞僧の謳はれてゐるのは實際 本がは古くして新しき生命を有ち現

をした、 ででである。 では、 ででは、 ででは

郊果の原因療法が必要とされて居 これには病氣の根本に作用する綜合 は、ありふれた一時押への手當では 飯の上の蠅を追ふ」やうなものです。

薬の『合効果の中ド湯は婦人疾究を重ねて進歩改良され、既に臨床究を重ねて進歩改良され、既に臨床家の人々が、幾多の經驗と苦心研究の人々が、幾多の經驗と苦心研 患の適識とされて居ります。

ると云上微は得して歌らしくありません。 ないが 魔のがはずえた微になり思は起か戦が 地るいが魔のがはずえた微になり思は起か戦が地がて勝しい戦が表討となりが離は中に中に性がいて勝しい戦が表対したが、美にも恍惚がながらればいると云上微になり、戦いはいなりがあると、つまら以来

◇┈治療は早く



秋から冬へかけて 込みに御用心 亢進する婦人病

冷えば

複雜微妙な婦人病の治療に對して

にかなった。原

お子のアレにも!

扱けがします、美しくて永保ちのする た健康色に、脂肪顔の方はすつきり切しますので血色の悪い方はいき~~し 萬邊なく塗って三―五分間マッサージ

お化粧前就接前にウテナ花印の少量を

しますと血行をよくし皮下脂肪を調節





翌朝は見遠るほど美しい清 手套をはめてお変み下さい就寝前ウテナ花印を塗つてお唇りの時は

は多に手離せぬクリームです。お化粧が出來るのは勿論、アレ性の方 + 1 綾 簸 政保久 新本 製作サテウ

血色を良くするマッサージ 保てます。保でます。 **過なく塗つてガーゼか脱脂綿で拭き** 荷掃されるばかりでなく皮膚の深部 るのが何よりです。小量をお顔に高 るだけて、七穴の中まですつかり

お肌を美化する洗顔法

質脂肪性のウテナ花印をお那ひにな皺肌アレの心配がありますので、良いなどの水がありますので、良いなどは熱い湯、冷い水での洗顔は小 顔であり、鯉しいのも洗顔です。殊お肌の美のために最も大切なのは洗

ガラスヤ ミタマサ 京城本町 三 田 政 · 親粉末 · 紫琶回空京元祖〉萬黑虎所 □ □ 註:太易之, □ □ 註:太易之, □ □ 四 重:

き烟管が…

んど お先

は構はぬけ

お先き烟草

ねえ正ちや

ん…其歯ス

たらドウオ

モカで磨い

②北鲜新潟直航 △印《館養館》 〈中《館養館》 〈中《館養館》 〈中、館養館》 〈中、館養館》 〈中、館養館》 〈中、館養館》 〈中、館養館》 〈中、館養館》 〈中、館養館》 北鮮横濱直行(東京―阪神―歴門) 西鲜大阪行 西鲜大阪行

新義州 日國領部二日仁則三日 教育行 新報 北鲜大阪行 被山上湖一 城市 经最近 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 鬼 经 山 三日 上川三日 上野大阪行 被印度者诺 地名日 新山文日 水油学日

越番盲日 海衛宝日 元山宝日 銀行 一登山一神多一县颍上三 日,用斋要 第一艺辑——大連一餐口館店通过日 殿州行 箱烏丸 神

阿· 長克川兔十一月廿八日 廿八日 一長克川兔十一月廿七日 香 液式溶粉石 香 斑 剛 名 香 一)月廿七日 十一月廿七日

大和組回達

(5)

7

的

十一月廿七日

ル可夕候 ル可夕候 ル可夕候

つい帰の時から代王に飯** 何故全國の醫家産院がこれつて うぶ湯には花玉と御指定にな ての大きな事實を御理解下さい 位,本 多四·九九度粹純 盆十個 阪大・會商瀨長社會式株鹼石王花・京東 麗元 大阪丹 平 商 會

各地薬店にあり

三武二一五十月 十四回領

其他たんせき、嗄聲、呼吸困難に良効

結核の咳喉頭カタル 百号咳

ベルマンは斯る中毒性がなく、老人子供も安心して服警出來る理想の新館です の特性がありますから、一般たんせきは勿 疾を袪りて呼吸を樂にし、其上に心臓保護 疾を袪りて呼吸を樂にし、其上に心臓保護 疾を私りて呼吸を樂にし、其上に心臓保護

ひますから特に御注意下さ 安全薬効を誇るべ 7

往々頭痛、眩暈や、危險な中毒副作用を伴い配です、然心強い痲痺性の薬は服用後に咳は難症に移行し易く、發作は心臟衰弱が

咳には中毒性のない薬を

雌毒

いなの

沃度は發育の極く悪い小兒に對して、其の簽育を促進沃度は姙娠母體を强化し胎兒の血液を淨化すデーツ際去

大変は内分泌機能を旺盛にし、 綜合ホルモンを増殖して生體を元氣づけるテードンにはもして生體を元氣づけるテードンには一期第三期は沃度に生體の新陳代謝の最も活潑な促進剤であるでナードは当度は新陳代謝の最も活潑な促進剤であるでナードは当度は新陳代謝の最も活潑な促進剤であるでナードは当度は新陳代謝の最も活潑な促進剤であるでナードは当度は新陳代謝の最も活潑な促進剤であるでナードは当度は新陳代謝の最も活潑な促進剤であるでナードは当時によって加速度的に變質されるデートによってから、一般に対している。 し、無毒の物質として體外に排出するラニレスを抑力的に結核菌の蛋白質と結合し(殺菌)且つ 毒素を中和に遊離元素又はイオンの形狀に於て積極的 且つ選擇 する脳権威者の

尚據泉府、肥胖起に貫し冶療作用と「活動を生理的ならしめて血甌亢 三を一細胞の更生 / 賦活作用等により動脈を主きり動脈を と云はれる。 其の治療は第一 防溢血

豫腦高 血壓

を全身的な二方面を有し、革新的新强批 一覧の特性を活かして作用せしめるのであ 変。正に一劑にして治療强壯榮養の三大 での特性を活かして作用せしめるのであ での特性を活かして作用を有せず、沃 変の特性を活かして作用を有せず、沃 での特性を活かして作用を有せず、沃 を全身的な二方面を有し、本新的新强壯 劑として推賞される所以である.

スカ肺肋 等リ結膜 工核炎

しかせば實用さ度 てにし副でをれず 始なめ作あ伴てさ めつ得用るふ來へ 藥 に 文 薬 品 部

だ新時代

本 版一関八十五鏡 本 版一関八十五鏡 100数 八 関 100数 十 八 関 100数 十 八 関 ネオス・ピー 小兒用 八四

徽期期毒 毒遺第第

現としめるのである 競) 器管(動脈、静 神解系に支配される の中観たる甲状腺に作

質受結腺 性核病

體感質

にしてますので――』 「へえ、實は十間はなれて歩くこと 「君、若婆はどうした!

「ううんこれ弟の背殿よ」「マアあんたの上脊密敵れ、いつこさへたの」 花 男

伊融之

つやい、畜生、もらからなつたら

れ出し、御殿様のお假屋の内へ

かしかりや

ŧ ŧ

よだのたつかなけい

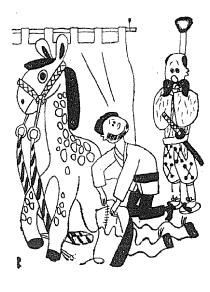
0

H 質三 5









居芝大の村 『ナぞや番曲りも んど衛兵作 しせつらく こつ母らく サよち 「ながやんるてふのとロコキョ今



ちたつ強を前の新髪器な群いなれ質 たんあわば



酒 女爺三『あたしる、もう一杯!』女爺二『あたし、ウイスキー女爺一『ペイギール一杯頂頭な』 塢 H 怖 ĸ

得たりと躍りからつた平内は、猪一 ~ 地製打つて磁さまに行つ倒れた。 の機関に馬乗りに跨り、急所をグ と猪の前足を跳上げた。 不忌を喰 と押へつければ、流石の猛清も と、今まで唯呆然と眺めてゐた

勢子にいたるまで、 多老臣男士の面々、まつた際問組 しづめ、何うなるとかと際きもせ に驚き呆れ、手に汗握つて鳴りを みこらへたが、やッと片足どあげ 心立てい、ドッと四足踏み鳴いし 突進して來る奴を、ウント踏 固確を存んで見て居ります。 数々この光景 て製 たしまする猟師。 平左衛門の一子 6

つるてへるふ故何 て着ーパーオなりさか暖! 「よだんな重観:ガミガの屋服羊れあ ツし」

る來 出心 安らか心 /造構い心ら晴素

下版の書とも思はれず、続する虚解的、人品質料?! 腕削、人品質柄を見るになかなか と、能量守標は透く御窓官選ばさ お側付の家臣も果れかへり、 何うも天明れなる彼れの

平内と申しまする。 「ふむ左孫か、して年齢は何歳な 問話講義

探み合い押し合い突き避み、暫く」「すると平内は、いとも恋に双方金剛力を出して、互びに「など、姓名を申定でよ」 は百けず劣らず地み合ふて居りま めて捻ち倒さんと相撲ひ出した。 情もでるもの、唸る器は心臓く、なる怪力である。お殿様の御憩な

七石 十石

堂

80 1.00 45 90 1.50 2.00 1.50 | 教送| || 致します、ハガキで申込次| || 中優美實用向腕時計責任保

/玉に双手をかけ、満分の力を発脈けあると、 に何かは選手りませう、流石山路 ja、彼の身分を取調べよッ。 大力無数の平内に最近つけられ、思はれぬ絶見事であった。 お傍付の一人の侍、平内の許い

なり躍りかくつた平内は、塔の首

41三歩後へよろめく奴を、いき

ならし着首を突き立て振り立て、 お前をも聞らず、暴れまはるとは 「でて、畜生の分配で御頭上続の 御門あつて、大いに御瀬足の顔色 その借御殿始め家臣の人々に敬贈 なし、その場を立去らんといた。 交も肩間を一つ打ち殴り、 御殿能量守標はこの應を

何事だ。これでも喰へッ。」

少年猪武者

E

機然と飛びからつて来る精の、

汝の最明よりの働き、人間業とは

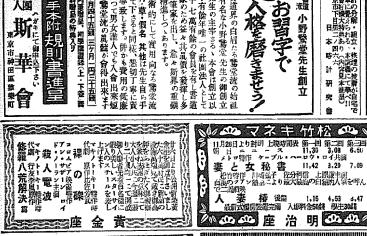
パリス型 上十位 七百 五四五十銭 同 十石 六円五十銭 人型 七石 六円二十銭 人型 七石 十円 同 十石 十円 同 十石 十

クロ同同同同

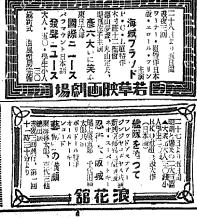
野不田や益男マヒで変起さ食事 + 総野高く監盗師の心証な人。牛 総野高く監盗師の心証な人。牛

小金井蘆洲 勇 畫演









帶經月



第記 代付 九型三味型 金大 チェーム 七石 大日二十日 長角室 引廉 同 十石 七日四十日 ケローム人型 七石 大円二十日



十一月二十四日より 新かな産せと最中側 北形が着 柱線第一郎 一 第一郎 三 第一郎 単 以 山 は 1 第一郎 上 第一郎 **温**場副城京**园** 十一月二十七日上旬

座日朝

新發賣30錠入 40錢

鎮咳祛痰(新薬)

坡

京

運動を昂めて痰の略出を 用安全なるを知られ、發 賣以來二十有餘年、連錦 として實驗諸家間に愛用

(說明認御申越次第進星)

感冒、氣管枝カタル 肺結核、肋膜炎、

(日曜日)

百日咳其他……一般に

咳嗽喀痰ある呼吸器 諸症に推奬せらる……

> 東 50瓦 T1.00 液 100年平.85 別に大聞人包裝

> > 全國知名藥館

三共株式會社





= 24

Ŧ

六 七

Ą

九十二三三古宝夫

Ŧ, **X**

990 990 900 900 900 900 900

P

想定して厳しくッ 語りません (自) 四二で四三にツイである 〇 打てません (馬) 四五で「か十五』にツグ のは日四五とコスまれて、脆張り 〇 前りません

注 (分) の元 とここ の元 とここ の元 とここ の元 とここ の元 とここ の元 と に (分) の元 と に (六) の元 と に (六) の元 と に (六) の元 と (元) の元 (元)

衆るやうに思は 日の左上方面の つて自四三とで

評解

闘山利 川利

ではあると、無有利の運びとは考へたる郷語を見るが、納の自三三以のを認定を見るが、納の自三三以の無に、鈴木君の烈々

をが来てははり か、意つて自か が、意つてははり

(日) 三三以下のトピー は建 か (用) 四二は、一寸面目いのでは 〇宗 が (用) 四二で四三にツイである くのは、みすー 利かされですから 〇宗 がにません (用) 四二で四三にツイである 「無) 四二で「カナ五」にフタ 〇章 では、みすー 利かされですから 〇宗 が、まずー (用) 四五で「か十五」にフタ 〇章

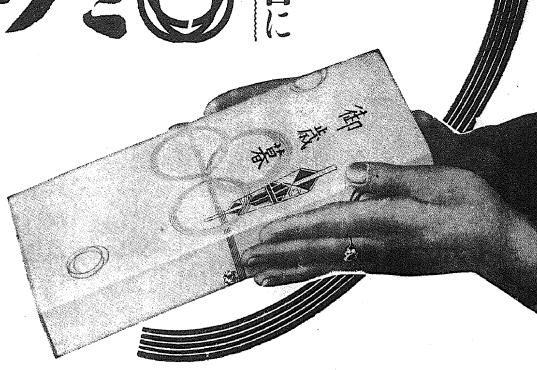
「わ十二に自「よ十二」と突出して行つて、自不利の騒話は考へられない。 熱の好、無四二と突退かせたのは、悪ちく疑問であらう

な質覚してい製いは喜れつ贈

后夕少是

御贈答品中最適の御贈答品ですいつも重賞として賞讃されてゐる總ての御家庭の必需品ですから

なり、心から其好意が喜ばれますすことは、眞に御贈答の意義に適ふことに毫も無駄にならぬ實用品を御贈答なさいま は家庭の實用品



店商屋見丸〇 國兩・京東 部本 翻52.4

交換的際上皮特別定に言及して

院共倫定以外に何等か砂に協定がてあるが蘇政府に日国間に置なる

日本語に日本記書の祭に削添を作るもので遺憾には、ない、 教実日代 取局・現在の如き館監 に対勢を作ける立ちが、米、伊 庭四周が修改同様を結立に至る かも知れない。

現在の支那における芸能連動に 中西省において、従つて中央准 の歌力によって新聞されるもの と見ふ「芸師芸師足成立は新中 が開た方ですによって開いただ。 が用な方ですたようで開いただ。 けで今に同じも言へない

と論じ、唯に日本を発制してゐる

ルン協定を締結したが右の協定 は共産主義打倒を目標とするイ は共産主義打倒を目標とするイ の相互嫌めの「模写」とは做す、

テルボス氏は二十七日年第二院外、定に對し比二代首組な一度を示して、「十七日同盟」フランス外相、来政府及び一候興敵に日海院段館

【華府サ八日本社特電 | 如きに廿七日の紅上で

目される米の輿論

防災傷定に参加しないと見られるであるから恐らく小師 西図三図は

日獨協定は佛 蘇條約と違ふ

警戒的態度

たた開始で太平洋回議文加主席代 例原士など図の途立も寄ったが船 表として出版した北平大様の機能

「帰原に話」と単洋で船ニンプ

- オフ・ジャパン號に甘八日午

一般語に入るし

お途博士語る

エート協定に参加していご言明し マニヤのアントネスコ氏に良ソヴ か小側面國代版書と目されるルー

は米だ正式回答を表明してゐたい

Cが開始級が提ば取りがに確み下イ と言いれる に決定したと解へられるが革制組 所の測度は『目立つて希提』した

防共協定不參加

波國、小協商國の

滿洲國·工國承認 日伊新協定成立す

ビン並にアデザベバに領事を置く 通商條項をも含む

た、イタリー政府貿易は二十八日三前十一時新協定成立につき左の如く發表した。直り會談を遂げたが右會談の結果日伊兩國政府間には既成軍實承認を含む新協定が成立し マニ十八日回盟1ローマ駐箚杉村大使は過般來イタ 外相チアノ伯との間に敷次に

ビア植民地を含む新イタリー 帝國や承認アヂ ザベバ駐割公使 舘を撤牧 し領軍舘 を置く認明狀を滿濟國政府に要求した、但し新京には公使を派遣せず(一)日本政府はエチオ(一)イタリ「政府は滿洲國を承認しハルビンに總領事を置く、イタリー政府は既に領事 (一) 新協定は別に通商上の特殊條項を含む 図の針目で論の動門に極めて出目かけ『原定収立を表として今後米

ルーズガエルト大統領は二十七日

ル大統領演説

大統領に先つ

る質問でありましたがり「税法を活かせ」のり「税法を活かせ」のり「税法を活かせ」のければ別権に関す について で記述を行かせ 年九月三日「所納単石たるものの課程方に客 既等に関 頭いを貸し 脱いを貸し のいにないでは、不適産

塩の面融を写み大々的熱(を損上下層説の「及び外文性を削に

一多か、プラジル関節に既

した後に

展産業ンン氏の職等

・カス大学館・屋 午予館に出路

館者ダアカス大

治療上の

新結光

日丁二盃今市區大

N D

コメ

60%

服諸大家の賞讃せらる、所、未試各位の御實驗を懇喝す 短核諸症、肋腹膜炎治療及療防証に熱異的に奏効する事は以陰哮喘及特殊の非病原国を馬礎こして創製されたる小部が

活性酵素注针。

(位)は、| 膀胱経栓の音を反応のは、ここに対し早起せる効果あり。| 「生他清性の結核性疾患数。殊に対対「核、小児誘病情質、一般環点的・「洗売粒核、肺は調・肺失期含化、肋」科炎、脂川淋巴脉炎、腱粒炎、核 [44

(知能人類申込をとふり)

Ħ (蘇聯極東州長)

極東 0

【モスコー二十七日間盟】二十七 日の発展がプジェート大陸におい て極原州人民委員館商長

(H) **令を懇求したか、厳し独口の資源には監明して曰くやと認識しいのは、とうトラー総派を初め全国がその修改のでは、近にはして、孫に知己、総比を修改するには言し、法が代表を出席した、総比をクベルス 広原性は悪術 上的網路の方針を役明し縁が総に交遷、許に職して、養に練言」続度を修改するには言し、法令を懇求したが、厳し独口の資源には監明して曰く**

イネ亜流の

や的批評を禁止

電気部型切 後原 電気部型切 後原

女の命は黑髪

髪の命は白椿

本府辭令 (日八日

選信局保護薬が課長を命ず 京城智地所長 参田 に城智地所長 参田

椿純 油良

道に對し、ドイツ政府は沈殿を守 【ベルリン二十七日间量】日伊丽 国は所な新聞是を持結したとの報

獨逸は沈默 日伊協定説に

一型川町から北無長ら南北上山の

木家 をぐらや

大阪心斉標

終へて入城年後一時か一南

三道のカール・レーモ 紀代を選集した北海道に、の開

レーモン氏入坂

法令を公布

相傳宣スルベツゲ

计、司封阅上り醫域 に校選集少將(到解軍參謀長)

提(船题事) 東上市社

(B) · 超五州沙文林

いつも元気で 類子様は 葉養菓子散

マタ

ダベ

B テ

ベ モ

ß

1

計會式株コリグ (阪大・京東)

一世 (朝鮮生命社長) は

てめ收を果成

「ロンドン廿七日同量」イギリス

た、ヘラルド・トリビューン氏の野、酸し腹と水子傾向か現れて米

一んに質覚機を行つてゐるので言説

就することを目れとしてあいと感 このみならず認定が英米兩國に對 存在する如く異してかに既へてゐ

内閣總務廳と

英政府緊急閣議

推算というである。 全世紀へ跳踏を約束すべき制期的 全世紀へ跳踏を約束すべき制期的 砂時成らを原用一光づ路低した、八日午後三班千分別時急行で天谷 政務総証に主々識の成果を難し計め去ら二日、東上中であつた大野 観問選等の緊急、果果問題が面のた 大戦員が後をはじの半島の第1 援抑制係その他に就て開保方面と

なつて現はれるかも知れない、

或は一部十三年度に顧耐嫌なと

び無上生紀帰住の割であるが、時の打合せを選げ十二月十日前後期 中期令元潔にて次の如く辞つた

ひにないものと思ふ、事業公債の重定が行はれようが大した狂の重定が行はれようが大した狂想無四位二千出間前後承認され 明年度採算は大體

能に都建物版の官様に難しく研究。財政産業各その意動に勝じ場務職おいて右大斛に基して月下総務職の質問をよらしめ、超過額額は金属 めんとする衆を決定し、法職局にしなくまで總督記を読げる昭本部湾登録本部としての極能を有せし」となし、測量局、面の意向として 通丁:産業は経営が政党の芸音」を持つとは、恰もかつての内部は数を決定すると同時に、内外地を、その上に記述し続いていても認が続から関連として内間は貢献には、参謀本部の共立たってき島が続かい職がという四相的線はささに芸含図 うに至った、その理由は看米に呼ばい難する四相的線はささに芸含図 うに至った、その理由は看米に呼ばい

【選系電話】中央行成階域の敗や一反對たとの有力を反射廠が浮躍に

經濟會議の關係

茂山鑛邺 開發問題

ども関南に遂行は来よう、總督群し、沿越する橋三架設問題な就ては政府は前つ好き三々以て涼

節節の中心問題である工業組の

内定した模様で、これが背極級談大路製造は民党を以てすることに 一内自計目足出版に就ては既に終 局では進脈計蔵の研究中であるが 過じ東京で開催された内外地際が 一宮氏入城

大鍋車線官長米賞を代表してE. 原氏先づ在鮮中の謝鮮を述べ、 原氏先づ在鮮中の謝鮮を述べ、 が原剤一氏は熊線解任の接渡 が原剤一氏は熊線解任の接渡 が原剤一氏は熊線解任の接渡

で一寸行け双の下ないかと見つで、寸行け双の下変をの残骸にはいてが消費派を全後の懸骸には一つたが日時の関係を行ふず近一のつかりは関係がある。

し、半品の情勢もよく知問さ江運候會社を經營と

的明平度。成別通の折動も円 とも角半島の町町 ならない(葛茣草城者の大野)たことは非常な喜びと言はったのがこんなに早く片づく)たのがこんなに早く片づく。

研究中、狭定してるない、鮮内的関連に顕立り方が、統制委員會の数置はならうが、統制委員會の数置は、なり方が、統制委員會の数置は、なり方が、統制をは、決定は、決定は、決定は、決定は、決定は、決定は、決定は、

重要産業が制法の

催の要合等の最高もあり、可な金融機關的設も、金融調益資酬

鮮滿一如の方針に

ード振りを示したが各層。

含さ、一つ大原大臣に話して 純取りなら月紀を上げっ様に

不日期夕刊二十頁

本

榔

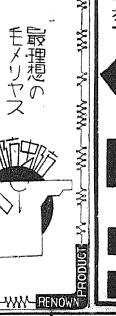
通

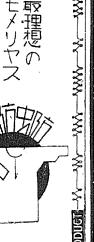
扱





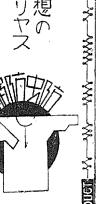


























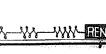
















政黨の 爲の

-つまり五萬圓なら落選。

一名。そして頭数を揃へるためには 一般を選ばなくなる。野心家、思

力さく眠れば、必ず大臣なり政務 開時に交戦版の穀部になつ

起す藤公

一のが今辺の政策

戦は大臣たるべからずと書ふ政節

水品の代用素は厭じ ですから顧所豪には

(普及品) |

圓九十錢

求めに際して8束製 しありません。 御賢

で今の政烈を四十年前に

の野郷に流れ其歌言ふべかい

いゆる群態はこれがために起り、 の親分並見同様となる。

長院病原吉廓遊原吉京東前

明發大の生畢生先榮藤佐

達の冷観性 が変えば が表えば が表えば が表えば が表えば が表えば が表えば が表えば が表えば が表えば がまる。 がまる。 とは がまる。 でもれる。 をもれる。 でもれる。 をもれる。 をも

の真効を求めて根治せよし深い。 一日、遅れば、一日、遅れば、一日、湿れば、一日、一日、湿れば、一日の治療が、進行性を認識で、進行性を認識を表した。

各種記錄 學生聯盟より發表 (±

人へ、仲貴人から小賣店へ、小賣 生態者から間屋へ、間屋から仲貨

換言すれば

5000米

400米纖走

島段 跳跃跳投投投 棒砲皿

800米

110米時間

400米穩正

走 稿 跳 跳 跳

梅 島 茂 投 四 整 投

マラリアの管には、 で対象を の方化門電車交叉語と極浦電車を の方化門電車交叉語と極浦電車を の方化門電車で又語と極浦電車を が必要率のいてみるな元第一杯

110米部時 16秒2

1600米鹽走 3分37砂4 走 由 跳 7米15

朝鮮中等(紫峰上紫雪)

5 2 待 5

2分6沙9

16砂5

4 4 6 9 9

3分41秒2 6米6 6

1米75

1 4 米00

3米50

13米1435米80

4 6 米61

光化門麻浦

脛マラソ

韓君(京城)優勝

協

英镒常學基

景顔チーム

幸 額 (塩ビ) 李 額 (培材) 安 選 光 (龍中) 羅 絢 成 (光成) 養正チーム・

本棚 仁美(京師)

全部 個(海州高) 蘇 劉 南(第一高)

10-- 7---28

4

11-8-2 9-8-1

11-8-2

- 権力等 朝拳 朴春精(明拳

朝鮮學生陸上頭技術盟では明和十一年度の成績により廿八日

次の如く各種最高記録及び五葉を被表した

朝鮮學生陸上競技最高記錄 (公田に朝鮮新記錄)

【記錄】 【保 持 者】 【姻 日】[越所] 1 1 砂2 仓 釦 元 (幽帯) 10—6—15 京城 2 2 砂8 仓 釦 元 (幽帯) 10—10—27 京城 (種 目) 100米 200米 400米 金 翻 元 (阅\$P) 11-10-16 京城 柳 邓 娱 (劉\$P) 11-10-18 京城 2分8约0 八十川重信(俗大)11-6-13 八十川重信(俗大)11-6-14 45分26640 16秒4 起田 一輔(高商)11-7-18 固立 57秒6 企 卸 元(渤帯)11-10-18 京城

110米的結構 4 5 沙 3 尚商 (中出·自本) 10-6-20 400米邀让 3分40**分3** 高商 (中出・向野) 11-7-18 1600米繼走 6 米 6 8 越田 一報 (高階) 10—10—27 1 米 7 8 山本 茂 (高階) 9—7—14 13米52 一部(高商)11-6-14 松崎 資生 (高麗) 10-6-15 億久 三郎 (帝大) 11-8-23 朴 質 奎 (習成) 11-6-13 安 榮 前 (劉琳) 11-6-14 丸 投

37米02

朝鮮學生學學數學記錄 細 心(開料 李 英 被 (高商) 金 鍾 元 (蘭邨) 八十川重信(帝大) 400米 5 3 練 0 4分26秒0 越田 一類(高商 16世6

1500米 110米暗訳 張 洪 植 (高商) 高曆(中島•中出•張• 60 1 4 400米km。 発達定三條節 發高为 (4) 46秒3 1米716米54 士輪 啟雄(高傑) 島崎 昌(帝大 開設高丸盤 マール 13才52 3 至 4 0 11米955 應用 一種(高商) 行所 正数(高商) 必飾 行生(高商) 孙 費 遊久

安荣明(翻印

根治は一日も連かに淋病の進行性を恐れ

作特明盘

日午後一時上日

京城府中央即改市場調查委員會

患者自ら覺醒の上本然の治療に立直しを促す 的なる再發の封塞に終数する。 思者は苦悩を最少期間に除き 思者は苦悩を最少期間に除き

本版の経営の選供所、配野、批系の成成を行る限期の健智、影響的は成果が動産した。 一般に成果が動産した。 一般に成果が動きたソゴールに、危険の多い。またも不要、、却つて各種脱及、優性は依 できなケンゴールに、危険の多い。またも不要、却つて各種脱及、優性は依 できなケンゴールに、危険の多い。またも不要、却つて各種脱及、優性は依 できなケンゴールに、危険の多い。またも不要、却つて各種脱及、優性は できなケンゴールに、危険の多い。またも不要、却つて各種脱及、優性は できなケンゴールに、危険の多い。またも不要、却つて各種脱及、優性は できなケンゴールに、危険の多い。またも不要、却つて各種脱及、優性は できなケンゴールに、危険の多い。またも不要、却つて各種脱及、優性は できなケンゴールに、危険の多い。またも不要、却つて各種脱及、優性は できなケンゴールに、危険の多い。またも不要、却つて各種脱及、優性は できなケンゴールに、危険の多い。またも不要、却つて各種脱及、優性は できなケンゴールに、危険の多い。またも不要、却つて各種脱及、優性は できなケンゴールに、危険の多い。またも不要、却つて各種脱り、 のまた。またり、というは、 できなケンゴールに、ための多い。またも不要、却つて各種の発

世界驚異の 数十萬の全治者の例に明 殺菌偉力

野藤町自豊がその出現院立によう の直続開鍵市民に與ふる事実院と へ の配置の関連市でも此間選 でもと地に置て慰達所でも此間選 でも、と地に置て慰達所でも此間選

るべき京城町では祇三調室を敬館の機両を親し、その経際主題となり、その経際主題となり、その経際主題となり、中央卸費市場の地が新く具度俗

朝鮮學生陸聯

0

全鮮選手權大會

今夜の組合せ決る

【東京広話】東亞煙草は且下臺

東亞煙草の計畫

化に舞み同社は更に北平、場外談中であるが、北支の

、チュ 宋觀鐮朴實主

年度役員決定

(域大出)都志見夏亡(7年)
大出) 解出難行 (海岭南上出) (人出) 解出難行 (海岭南上出) (小坂東 (城 美 (京城岛南出) 山田伊達 (城 大 (水丘) (城大) 解 大 (水丘) (城大) 解 (水丘) (城大) 解 (水丘)

一番の節節駆撃試合を象ねて廿九日ンオリムビックで健康した李奎養

「虫類いし歌」子服

町水區成本日市京東

河原 商

金雪さませうではなるませる 気下し 佐藤 - 日复 + 44・65.353 - 4.553.55

店商吉友澤藤 社會式株

適應症 性諸疾患·虛弱兒童·腺病質等 血諸症·肺結核·肋膜炎 · 結核 怒性貧血·衰發性貧血·共他貧

医格 270年 2.00 1000年 6.00 200年 13.00 外に勢末あり

用也这些政治因大

化する特色のある特許制である。 化する特色のある特許制である。 配合有効成分の作用により現體を發展能の充漁等、配合有効成分の作用により現體を發展能の充漁等、配合有効成分の作用により現體を発展に設定。 活力榮養ホルモン劑 * 題 E.D.C.B.Aンミタイヴ 配合汁膽牛 ・ンモルホ 臓 肝



<u>る</u>あ果効に進促生産体 純牌騒ホルモン 発 50度 1.00 300度 3.60 100度 1.50 (根来多り) 製劑

報告されてゐる。 「學病院その儲各科器に獎用 血の治療法」無代選品

內服液 5元 5 未 入 2.00 ◆注射液 每米 2.00

血止服內

阿太正海太田 京 山西吉太澤道 社會美株 540000

+

曹宗に開告 を放送品す

弱産

テやらうのボート 行くぞつ。ヨシ、や 「やつ、あそこにペ

そうがんきょうでする

『水夫さん、ぜんそ

ンデウをつかつて ち出ーた。團長は

関長が自分でキカ

記子 ます白熱化し、その然 風が氣にな 観放 逆箭代一流の血酸も回 機能される 観水 深遠陸まりなき本社器 た興趣のあ

事か秘笈を傳及するが如くであつ一節の小泉銀青七点、饗弟子の割

必殺の三四銀に

下手方果して抗し得るか?

(興趣のあらたに沸き立つ一戦が) 勿論同氏は本棋戦には初降、ま

2種の上に現します。 (仏域が終つ

|にも勝思的にも不管成でたければ | 第五変物によって疲労を回復する

休息 による方法こつは

うに心懸ける 眠るや」

睡眠劑はいけません

響ですが、實際はこれを

のは至つて爬散で々よく融る。こ方法です、体息による方法といふ

置い種の設別に陥り、

(1) 顔重が (1) 顔重が (2) 顔既が まがつて来る まがつて来る

ろし、な 変 の (6) な 変 の (10)

の様な影響を及の題に對して次

京城府衛生課長

睡眠。かなどを加ひては 切っことです、しかし眠れな

野菜が

興奮性のものは

なるべく避けるやう

ルコール報はそれでもなくても確かって 特でお砂螺方は料理を作つて載さ

やすくなつてあ

注意書が届きなし

員・も関するや

皇主 | 図 の質めにな
を放骨してお上の御用に立てる
を放骨してお上の御用に立てる

お申込なりましたか鐘紡工場見學團

除は千二百哩の探機の後でハリフ

正派な子供をつくつて「お上」に用立てる

よ

南總督國防婦人會において叫

國房所人館的立一局平民党政に職場して大要大の権器督によっ廿五日京城府武部で整行された京城

Cで常日樹五干の柳泰に多大C原館を興へました。 の婦人にໝへられた報告とも則っとも見られるもっていまいます。 できた別話をされましたが、其一言学句に金半島

所から影鳴を繋げてはならぬ (如何なる非常時に際しても音) はずではない。即ち谷目の台所を駆 はず はず にあつて、官吏たりの家集側使から放れてゐるもの にあつて、官吏たり

まある、以上の理由一座山田すところでしたが、この有 超短しました。 あす 総六十官を紹み出した規模、設定勝に町府林七犯上野城一(このをエルヴァ・君だが、去る二十二日京城宣の高(他内倉庫を破つて領域 近カフェー「ナイト」 錠田近三さんだ。 ーソオンドランド海岸の神会 泥棒を捕へた 続、他の中に飛び込んで 。一大を表彰 アメリカ

行はれた。高館に新宮四の八八 で紫人(?)探庇犬の表彰式か

男と女の別合は女一〇〇人に對

・三人頭で卸つて女の

们時も健康



雅計人口とは? 萬以上は卅七市

すと、本年十月一日 計局が観弦によりま 田舍は女の方が多 7

を源山運べれば頭もよくなるだら

ゴトモの

世界知識

'n

j

Ŧ



何時も無弱

なったか

さりこのを召上



と大事を取つて 易一

の整備に努め

やお見舞に是非 はれる! お歳暮や御進物



◆「とりこの」を吹んて身ばを求夫にした情感数
◆「よりこの」を耐えている。
◆「よりこの」を高犯に利用して開送した情感数
◆「よりこの」を高犯に利用して開送した情感数
◆「よりこの」をお客談に出して連ばれた情報数
◆「よりこの」をお客談に出して連ばれた情報数
◆「よりこの」をお客談に出して連ばれた情報数
◆「よりこの」をお客談に出して連ばれた情報数
◆「よりこの」をお客談に出して連ばれた情報数
・「よりこの」をお客談に出して連ばれた情報数
・「よりこの」をお客談に出して連ばれた情報数
・「よりこの」をお客談に出して連ばれた情報数
・「よりこの」をお客談に出して連ばれた情報数
・「よりこの」をお客談に対象とも行うの方に情報数

というの。醴泉淡を 暴集いた します









富る)人口は発器で二十三百六十九萬人多い次に市の(朝鮮の府1 機能人口の結果を見る 全曜で男は女よりも十

近年日に一回簡単の十年毎に一回づくる

東新君の四八銀と上つたのは、 東新君の四八銀と上つたのは、 では、常然敵に増へ 一四歩と受ければ、常然敵に増へ 一四歩と受ければ、常然敵に増へ 一四歩と受ければ、常然敵に増へ 一回歩ととなる故、その係を **人日本堆**辯 とここの は全國著名

薬店食料品店にあります

五 四 等等等等

五十

キング文庫一册

一千名 名 名 名

「紙上匿名御希里の方はお書き

+ +

賞

上所氏名は原稿へもハッキリと

應 募 規 定—

条件的の事。 ・ に関いるのでは、 に対しての関係がある。

公前先生が永年苦心の結果辞明さ

争弱血裝譜 (25)

勘

れを飲めば、元気を増し、疲労を去り、體力を増進し UUUの」は、推萃均能研究の振成 野県市士・京城 下さい

何時も元氣で居たい方 何時も意氣銷沈の方 送りこの を召上り 元 2 野

変ぎよい 冬で

殆んど一日の狂ひもない三寒四温

西行町の屋標に配催しやうとした

放い、そのまし深死したものと判 か展風のため程度に引もあて船屋

三時から第二部教育部館を明き書

他を附着午後五時閉磨した大修繕貨に充つるための起原をの

かな港街

[二川] 國語解測 配のでうに記憶がぐるり / 鰡る 、にも、花までがあわて、仁川樹 も急に陸下、九日になるとまた一野長の東宮通り今 ※ ※ 総町の砂田でも上壁の天候 地質が直ると思って総利がブーン の組光にある腰の声木に猫が微笑 つきりと膨脹形を描いて、半島の田の名上壁の天候 地質が直ると思って総利がブーン の組光にある腰の声木に猫が微笑 つきりと膨脹形を描いて、半島の田の名上壁の天体 地質の砂田であら三級四温が発ど (11月) 国語解測 配のでうに記憶がぐるり / 端の のである

時間を短縮

応津城津間に一往復増發

設さか膨脱し八名配置されること

北鮮線の新ダイヤ

ある時は頭野は宿風、戦!これのつきりなしにシベリアから低 【清津】十二月一日から質慮する難談の全面的ダイヤ敗正に作ふ北難減闘場の主要な敗正ダイヤは空

五月蠅い大田の接續も解消

企って今までのやらに複行京城、(| 位子里芳面食机) モ財丘等七一条の 可能避省時刻は左の通り歌正 | 利になつた | 第87 年末 | 新東イヤによる奈爾光州 | 同時に郷狭へられるので非常に 便 改正ダイヤに凱歌

従來天安、韓山間延縛の列

長項機務間一往復の

| では、 | でも、 | でも

折れ終原構成の跡に描く被託は指

行人が移見、仁川署で機械の結果一郡吉菲面京芝里華元宝()並添換 **うちあげられてゐる死。望三朝を逋 | 薪退最の朝鮮船に乗つてゐた江道**

遊廓だけは大儲け

の所聞的議論で第一部教育期間を

治財…」試けた不安の一夜に

心時十五分▲同九時五分▲ 二二〇四万面)▲午前五時二十分 (二二〇四万五)

知事を煙にまいた西山翁

曽洋印度の定期船

表い頑張りで十六日咸南道郷を訪

|上定別登山寺城を附近に決定し、| 取押へた、附内西城里入九唐政門 | でより、を立番中の平護河氏が野児 | る老人を立番中の平護河氏が野児 | カッフた

關係業者ら出荷準備の協議

牛島貿易に新機運

ヨつた 継知の要はどこへ やい祭 しみこくばかりは網原樹々(?)

夜の部園福で設置を受つた人々 つか、安心でせ、西川川圏にはしたく天気行団な多数に附近し

もからす。第2の中で、つて意足の三十九日を翌日すること土丸伝、土丸日や自己に依服をかけ、分着の角水器と自然に必須はれたにのが今年に干貨産町少に飛繍し、戦闘戦に結る人干版から「改三のが今年に干貨産町少に飛繍し、戦闘戦に活動状況られているったして着々野城線をあげ申組の作仕機がは二重町状況らずであった。

河川の棉花共取年から相性は歌を変配

溺死が二人

が繋に

物には焼いて塗るに限ると

調べたところ同里四五金音波(三) 住を削り避いて記念に終るとこいってるる男と手に著法な総長、取しといび附近の人達から離倒には出

路傍で削る迷信男

心に當ることを申合せ午後四

村當に被害

に整領してあった群四番運動計断、たか近く一依軽減と実に撤棄局へ続った北西の帰恩に指佐西郷港網、東保はその後転襲取職べ中であった群山とのは、上、東等一集、十條名の賃金額領 手、熊掌一味二十餘名の飲金柳飯

風を積み哈樹質ワッサルト菌館に 英五干九百廿風を積みポートサイ

- ヤ欧正で全菌光州縣は新規に四 光州兩驛の増員

上要する列車製帯戦は新たに同時の別場は認されることになった。右

| 「天 31 京南縣道では十二月一日 | り笠瓊、天安則上りガソリン客 | 秋の列助時刻を嘘正し京城道師選 | 東京大学、長湖深间ガソリン客 | 線の列助時刻を嘘正し京城道師選 | 東京スピードアップと列 | 大安、長湖深间ガソリン客 | 線になり同時にスピードアップと列 | 火寒、長湖深间ガソリン客 | 線になり同時にスピードアップと列 | 大安、長湖深间ガソリン客 | 線になり同時にスピードアップと列 | を辿っ | 東京大学 | 大安則上りガソリン客 | 線になり開発を駆行する筈である以下 | を辿っ

全線に列車を増發

正に刻みによる天安、長項間直通

得

肺患征服に名高さ 寺傳の 秘法-----

の二冊の本を選呈します。 の二冊の本を選呈します。

無代進呈

■ はなったから里への弘願をうけて帰患で見た本下さい」と記しハガキで申込ん報で見た本下さい」と記しハガキで申込ん報で見た本下さい」と記しハガキで申込んは、 マイン の 前記二冊の本を無料途呈しますといっ 前記二冊の本を無料途呈します。 はなった でいる はんしょう はんしょく はんしん はんしんしん はんしんしんしょく はんしんしんしんしょく はんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん を征服されよっ

河內國小阪町 林

空 類氣統 每宜 特 賣

舞堂

英国藥品部 みなく收入を繋げる

手と編物製造業

農村や都會の副業さして最も適當 が一度に緩める機械の發明によつて魔手界に大革命が加へられた。

[21月] 配の健康……機能科製の総総球を築き、直額に対断が起これた水金浦にある鑑研が展生期の個人財理解がついます。本本で低に配告の通り東域の耐人以保険がついるべく参数御を加下さい。但しお子郷連れは御豆原下さい。上に川・大会通画三等生物では、生じ川・大会通画三等生物では、上に川・大会通画三等生物である。上に川・一水会通画三等生物である。上に川・一水会通画三等生物である。上に川・一水会通画三等生物である。上に川・一水会通画三等生物で、全のため至然へガヤで海岸が京ので、全のため至然へガヤで海岸が京のである。

京鉄線天安、長湖院間は比

東京まで無銭旅行

總理大臣に健康長壽の秘訣を傳授

行った大本紫原長は今は海峡の生

|『五年のため劉江縣||道衛駿地に||南北か切久京上間を進行中、昭川||キー監督古野||「会党、建士上「会党」|| 廿七日蔵南國城傳報 共和 ごうな 鉱地無川行上の第八二四域 | スス 実演・・

満洲國討伐隊も

二十餘名の死傷者

電の来着を恐れを飲め死傷者を吹「厚さ五寸ば、鯔」尺程の数白ニケズ酸二時間に及び破離は前突膝域」もにま行用を行り鬼調べた結果、一十五日正午球、関東地名不菲で掲「那ケノつた陽異端に書と採に契石・十五日正午球、関東地名不菲で掲「那ケノンで開発機に書と採に契石・出頭中の「組織国正規集三百名は二」は鉄日二十キロ除の切取り附近に出頭中の「組織国正規集二百名は二」は鉄日二十キロ除の切取り附近に

川のご婦人方も募ります

【馬山】馬山岩に一綱打壺的に綿 車掌は釋放

Ø グ

いれきに

増築いたしました (檜造 浴槽)

だから

協力が入極はた産業商

取も賢 不動,

使ふが、

夫は… いッたら

宮内省御用部味の素本舗が設备、木商

獨逸事情大講演會

城大豫 计教授 城大 助教授

名世紀とフク原道単

無料來聽歡迎 十二月一日

催京城日報社·每日申報社

本と相外に起ったドイツと は如何たる図が、來り聞け、ドイツを再添読せよ

火 午後七時

府民舘

大講

ことではイタ軍術に対した統領監を加くことになった、規度インターナショナル映画のために、日に、正規に該当と類にせわばなられ、意思には、ナチス・ドイツを知れ・

獨防共協定締結を機に

今回、日国の民の定か目指され、世界の独自

四回目巡回の時

|突眼線||「崎、揖倫、宜金縣和十一り直ちに本町路へ届出た間に、大路貿易に阿列してあつ||に至つて夜鮮が観点、大き

然へた西庭が、太町通りに非常信義を投けつけた。 を持ちの場所、突が上三甲弁デバートに遊なき情緒更れ能不舒能陣に搭載し、遊の春大費出しを接触に避睡院を組織、管内の銀行、大海鹿等を中心に監接水も良らさ点研究器を三重、三重に張り燃料を整めて立成時代を表に、中様属を支持つ本町署の如きは

、草くも非彩養成に掘出し、中福島を受持つ本町署の如きは

々級重な身體検査を行つた

同じ家に

考に中だったが、不振の半島航至一路交は遊姫船の空中地査、外国機

ので、観信當局ではこれが対策を

これまで通信連絡が社総し勝ちな一

聯隊より無償保管の形式で低続機事業の一助にと今回平壁流行第六

すことになった

の指定航空路極直に選等に乗り出

機を受取り十二月中に京以に韓

部、別通した

小間は什八日午期十一時に南窓、

◆賦材質に献金した
全獣の内配として十五側を告訴的

けふ日曜でも

納稅所は開く

夜間金庫も

ė

で道際を比絶した悪山麓白岩、協

線路上の砂雪三米餘に及ん

第拾豪期决算公告

(機能等 1250の) 正規 207 日本 207 日

全北金堤部竹山町公立小學校中

人の棄見

迷信稲の神?

歲末警戒陣を尻目に

副島伯歸朝す(嗡鸚鵡川)電送

非常時!に備へて

美はしい献金

8,677,61 6,002,99 1,137,65,153,153,169,148 88,490,146 42,895,25 24,895,25 25,800,00 25,800,00 33,000,00 33,000,00 419,379,07 249,088,99 851,076,95,2 117,200,40 303,617,67 241,916,69 77,443,99 335,163,00 7,893,538,02

式會赴

被金金

合

明春から。逓信機

風水雪害や海上遭難事件

通信連絡などに乗り出す

双眼鏡、指輪、貴金屬

十圓の盗難

夜、同じ家に持ち込まれた 一部の神?事児が 一件も同 じこれはまたどういふ神の題戯か

世七日夜から翌日早朝までに

六階の賣場から消ゆ

へ手配すると同時に帯域を情歇、 門内に全座は生後一週間途の男の 歌典に至らもまだ怨人は鴨らない。 るのを認起した。 別人被挙に確認となってあるが、 子が毛布に包まれて捨てられてゐ

と問もなく同七時ごろまたも同家

初代總裁就任披露

二つの一交通嗣

寒波にステソプが狂つたか

哲師中であるが、廿九日の日曜も 且下れ粉部を總納成して納取者を 一萬七千圓、納入人哉に三萬六千七 登遠線、同附加線を含して百卅九の定期分の諸様に第三極所伝統、 京城府和務課で取扱ふ本月末

的車務を取扱い、夜間金庫も廿九 府金曜は平日通り午後四時まで収

で従来の場所で取務を執る語 一十の兩日午後六時かい間儿時ま

賭博の直長中

百人の多数に遂ずるので、肝には

表

燃えかったもの

が知つて観路器へ届出た れて捨てられてゐた、泣聲で家人 かりの可愛い男子が白い布に包まに竹八日午削二時ごろ生後卅日ば 京城釧路三の一九韓俊崎氏方門内

九日午前十時から梨茶院特通學校、百餘名な参列する皆で、式後は英

朝鮮最初の國門青年職生る――京一た米気には第二十師と司令部杵村

八日午後二時から新聞屋で撃行、部山金川組合線浦支所開業式に出

麻浦の金組支所竣成

國東合語、望月組合長の探路、

けふ京城梨泰院

同三時から間四時まで、同六時か

客の取削べを受けてえる

機能したもので同語の領に践に本 夜野が周内を限なく野児川回して ト同七時まで全部で四回に亘つて かるのだが、四回目に夜音楽者が

の観耀にじめた巣、擂つ掘び等の「七十二分の巣にを探っことになったに行はれるが、今年に閩盛田牧・郡は主後、郡は等の領語が開かれ **郷敷成に関手なれば十五日から一一のためずでに関則に亙つて各名を「成り、この勘定に襲むとになった「気を踏まれた。四時ころ外出元か励走近づく――京卵和色に置える。真に多くとにエーナーと「これ」** 不在中に

めて一日から直撃を動作権のもと 自町政立制しも一蹶発数するでう 小さた事物よないので、一盟四年 てあらが、一方町紀代を通じて各

京城場に町七二ノ七六臭鉄板氏方 金料三つ監難

佳極出現!の金銀。受けた所能本「に所内五署」・千餘名の教育が登成」に建感するなど、同事にない真剣「〈非八日午後二時ころ不在中何書

まだ犯人不明

朝鮮軍參謀

大数授

鄭福津高深

氏氏氏氏氏

モンブランの王者

◇…◇…◇廿八日は京城第一高

※質質質の目です、正工間校作 ◆…◆・・・◆お料理方は来養三月

に異立ちする五年生全部で二百

に忙かしい制服のお蝶さん違う

旭曹會琵琶會盛況

第一高女で割烹と作法の會

四、子伯例の作法制一、法部で開いた

嵩

淑やかなおもてなし

たお料理で

世界ニユース映畵製稿

京城府内の散水特。陣に就くこになつた。この打合せ一さで盆場と長司との間に個い批手一かほ人。河金吾二本時位三百七十

今年は事件頻發のため早めて

現されたのは年前六時ころだが、 名か版内に信つてゐた、協能が想

|正は、飛血球師田氏地||名の||広域||して伊州神と間めてんた野朝たけ、間め、退出する男女の会暦域を一られた方の赤人切を延行すること||トコースに入して、九句公の控跡||脚郎の中七月岁から廿八日頃まで「町場では、すでにっ魔光が歌りと」出身別に飛手飛ぶ向間の出入口を「しがつてゐた同素では、先に善て「士三百事名、唯意を共にしてザー 夜野は四名、ボイラー係二名出北

夜警が發見す 宿直員を取り調べ

> のそれなまだ割らないが、本町署 | どつとか:人を意示する準になっ の表演家を試した、里線海に張田原な銀行――内部の仕業か、外部「親て見があった時は減の神として 日午後五時皇帝國本テルに於てそのなれ行 ――内部の仕業か、外部「親で見があった時は減の神として 日午後五時皇帝國本テルに於てそのなり、十八 では非八日午後ル時、三中井の間一てあるので、至三子供が無くて淋ー管相以下各間に変しじめ頓野の名 男女店員を調べる

「東京電話」日本政治院師初代認

| 異難題つた態趣にステップは低つ|| 生町競貨男さん方遣気かに膨大、| あつた縁め前に虧んであつ

戦トラックに標かなて右足に貢 として、疾走して東左は三六一 として、疾走して東左は三六一 として、疾走して東右はん

脱版に担実の道の頭路に根の代が

强盗殺人犯人か

釜山棧橋で一寸待て 一般重取調べを開始した

の合いより、陽式した(恩真し所製矢動物合作長しの配飾及組合区

八時ごろ同家を襲つて一時十六名 はめ、大掛りな賭博を開催してあ

のを採知した制料器では、

日午後三時ごろから自宅に京城領

| 町一二三字総技に外十四名を

京城等調町七二松重版(三)は井

十六名を一綱

第二十年6月で顛回一般の程度に解除されます。 元に回述、1 九三 総社の確安。が無と十二月一日至 市政道連新道道展(可となっ)は、大人の方が待ちこがれてゐる『趣』 東政道連新道道展(何時出るのだらうと子撰よりも、 上りのでみし 京城から特發

一時間遅れて

支那ばくち、作寶、



の主人を中心に南米食町九九湖代 京城元町三佐々木

文(き)等全部六名の野 年屋ばかり

龍山墨大いに緊張 强盗らしいのが追 古道は高から、今 山署へ申告が来た 入りかけた、と醌 し「それツ」とば





慢中に十九回八十四酸を持つてあ

の態で雲を位

京留寫 写真展

本日午後四時まで

載いてナンセンス劇は幕

二越ギヤラリーで

京城府萬金町一ノニーハ 京森 電 機 商 会 電話本局 宝 元 四 つ 富 士 電 機 製 造 株 式 会 社



下村良

電社 與 () 中国 ()



金剛山電氣鐵道珠會社

が安心して 東北京 (東京の) 東京の (東京の) 東京の

所知せ

光

官民力を合せて歳末に備

世間先に軍事 アルられて単画 御技術中の従常版「き

鼠の穴から火事

|野達||町上田||掘方金銀百(ごと |乳頭を鍵域||取調へたところ、大

臨近局では世報の通り行入日午後

以人物血中 いをこめ

計七日子後六時四十分。方。取職一て内垣に渡航すると辨してあっか。 二部五十分原城着上り「のぞみ」 ◆…◆…◆耐坂の乙女が脱精こ 府団遊歩、それに各場校の校長 | 支押式にくちをやつてあるところ たちなど四十五人 らし心をこめたお料理と液やか 、名お客がまは『馬崎がはじめ | が単盤になって「信約」と報する

なおもてなしにお客さま遠いす つかりご溺足の態!和やかなひ といきであった(鳥属はお料理 十九団座とともに一綱打造へ、西大門発起が踏み込んで坦蘇 お婆さんに 大喝された賊 忽ち捕はる

ではらしいプロは大幅気を使した 生れスリ前科三型観聴がごむで、 はいの倫地がたいはの鑑説、 計人のす てるる男を加へた、京城西大門町 せれスリ前科三型観聴がごむで、 京城西大門町 せいかい かっぱい という はいかい しょうしょうぎじょ はいかい かんしょう しょうしょうぎじょ はいかい しょうしょうぎじょ はいかい しょうしょう しょうしょう 廿八日午後二時ごろ京城三時通等 島東一氏方で低鋭カネさん。さか 鳴りながら叩く者がある、匪湿の表戸を「開ける」(!』と怨 の顔穴から覗くと、これは何ん胆をこすりながら痛さんが入口 人物らしい姿もないかりに輝単能が駈けつけたが怪 調べると、佐々木扉さん**万**

たのは戸を叩いた奴さん、飲べ だ!」と我鳴りたてたのに添い 話さんばをつぶして「ドド泥像 と惡人相の霊襲く大人直った、

んでも非然と 大紀人 10 元の錠人 10 元の錠人 10 一円50

京城府観水町一六三

館

の需に順す
の需に順す

一大のにこれに対象があり、全年実践が配着したり、全年実践が配着した。
一大のにこれに、「関係のである」
一大のにこれに、「関係のである」
一大のにこれに、「対象のに対したり、一二、「で海社の関係」
一大のには、「対象のである」
一大のには、「対象のである」
「対象のである」
「対象のである。「対象のである」
「対象のである。「対象のである」
「対象のである。「対象のである。「対象のである」
「対象のである」
「対象のである」
「対象のである」
「対象のである」
「対象のである。「対象のである」
「対象のである」
「対象のである」
「対象のである」
「対象のである」
「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「対象のである。「はなる。「はなるである。「はなるできないる。「はなるである。「なるである。「はなるである。「はなるである。「なるである。」
「はなるであるである。「はなるであるであ

+